

海だけにすむ
とげとげの皮をかぶった
どうぶつ……これが

ウニであ～る



トゲトゲ博士

世界には
約1000種の
ウニがいる

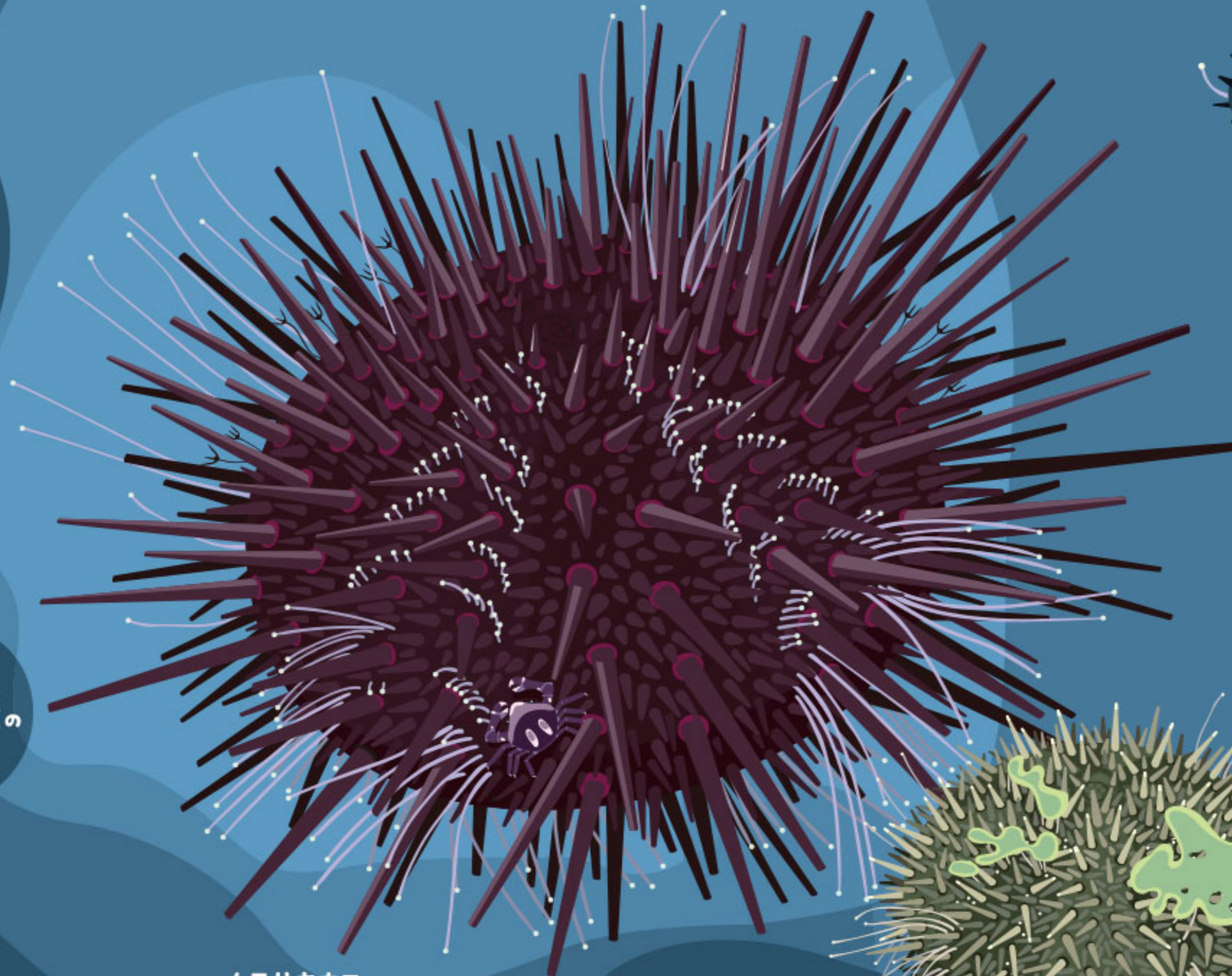
わっ うごいてる



イガグリ
みたい



うまそっ



ムラサキウニ

日本人によく食べられているウニ。
石のうらや、岩のくぼみに すんでいる。
おもに海藻などを食べる。
おいしいのは夏。

バフンウニ

名前はバフン（ウマのうんち）に にているから。
海藻のかけらなどを のつけていることがおおい。
おいしいのは冬～春。雑食性。

ウニのきほん!



ウニといえど
とげが じまん

とげ
1本ずつ
自由にうごく。



ウニの
ひみつ兵器

管足
のびたり
ちぢんだり。
死に硬盤が
ついている。



おしりば
しな

口
口は下にある。
歯は5本。



うんちは
ここから

肛門
おしりは
てっぺん。



ウニにすんだり、
かくれたりしている
生きものが いるよ。
見つかるかな?



ムラサキゴカクガニ

とげのスーツをめぐと すてきなから。

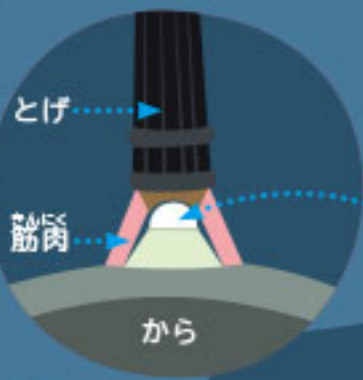
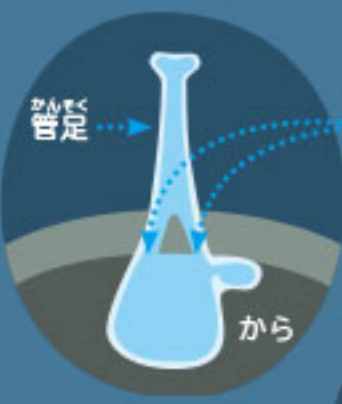
たまごのからとは
ちとちがう



ウニの「から」は
ちいこっぺん
小さな骨片が
あつまってできている
のであ〜る



こっぺん
骨片 (からのパーツ)

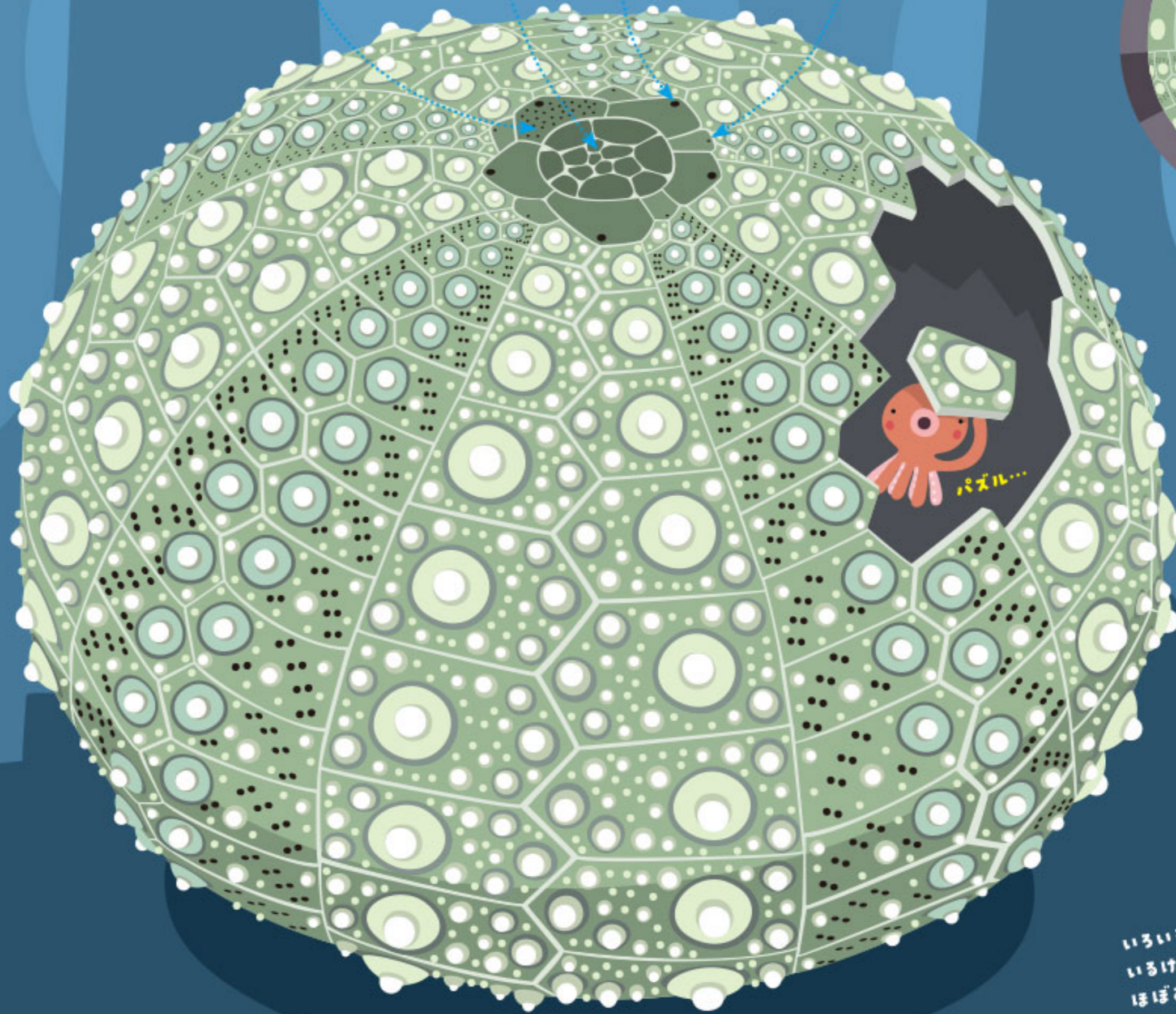


水孔
海水をこして、からの
中にとりこむ あな

肛門

生殖孔
たまごや精子が
でてくる あな

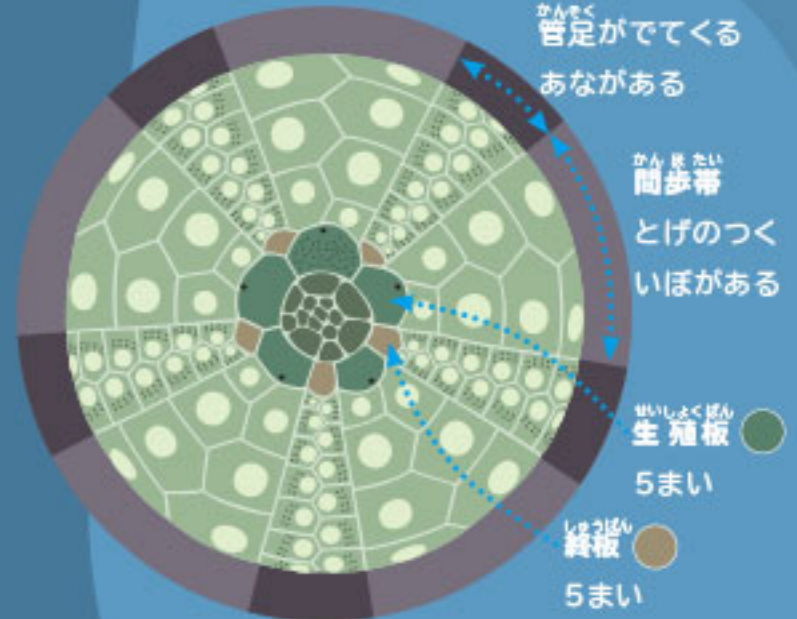
縁板孔
さいしょに
できた管足がでる あな



上から見ると



5セット



とが、さいしょのから。
このふちから、あたらしいからが
できていく。



いろいろなウニが
いるけど、パーツは
ほぼおなじじゃ



まだまだ



すてきにヘンテコなウニたち

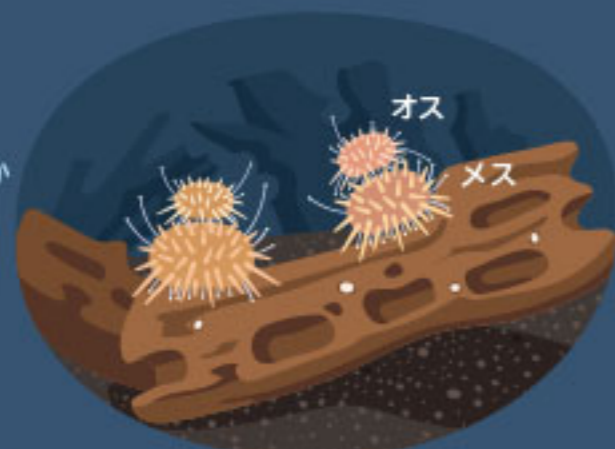
青字はボール形の正形ウニ
赤字はボール形ではない不正形ウニ



なぞの鏡もち?!

カガミモチウニ

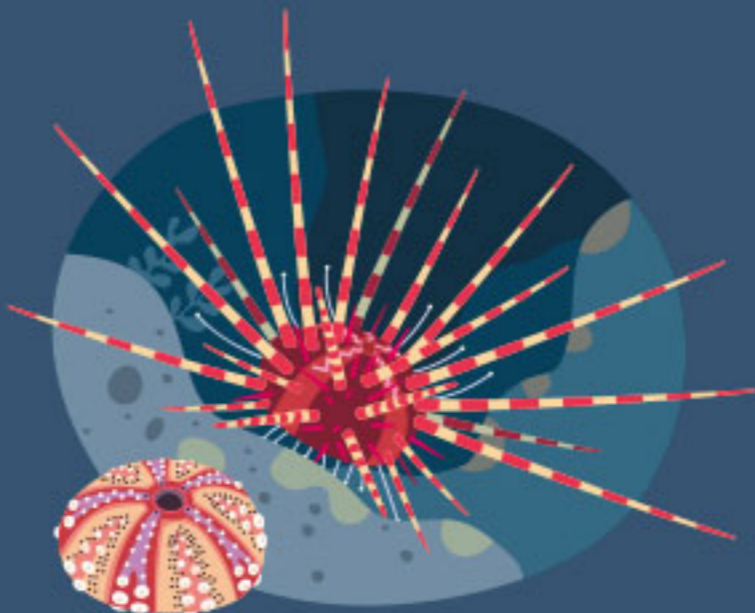
深い海にしずんだ木のかげから見つかる、小さなウニ。大きなメスの上に、小さなオスがのって、お正月の鏡もちみたいになることがある。



カラフルな美人ウニ

ペンテンウニ

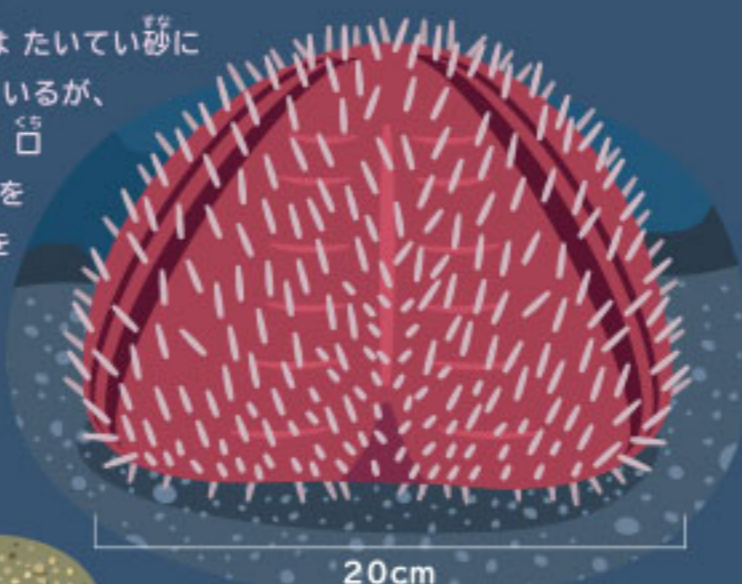
長いとげは、赤と黄色のしましまよう。とげだけでなく、からもカラフルで美しい。弁天（弁財天）は、七福神の女の神さま。



深海底の無敵ブンブク

ウルトラブンブク

ブンブクの仲間は、たいいてい砂にもぐってくらしているが、この種はちがう。口がわにあるとげをうごかし、むれをなして、戦車のようにのし歩く。



ちっちゃなちっちゃなウニ

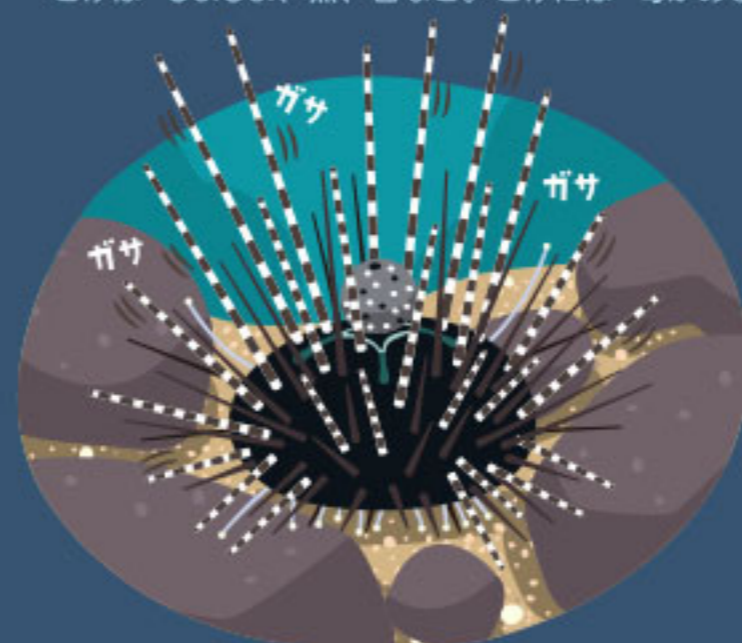
コーヒーマメウニ

からの大きさ7mmほどの、とても小さなウニ。この本の監修者・田中端さんが、大学生のときに発見して名前をつけた新種だ。岩などにうすくつもった砂の中でくらしている。

水玉パンツのあぶないウニ

トックリガンガゼモドキ

からのてっぺんにある、風船みたいなふくらみは、ふくらんだりしぼんだり。ここから、うんちがでてくる。とげの先にはかえしがあり、ささるとぬげにくい。とげはしましま、黒、白など。とげには毒がある。



ラッパ? 花びん? ウニである!

エキノシグラ パラドクサ

(ホソナガトックリブンブク属の一種)

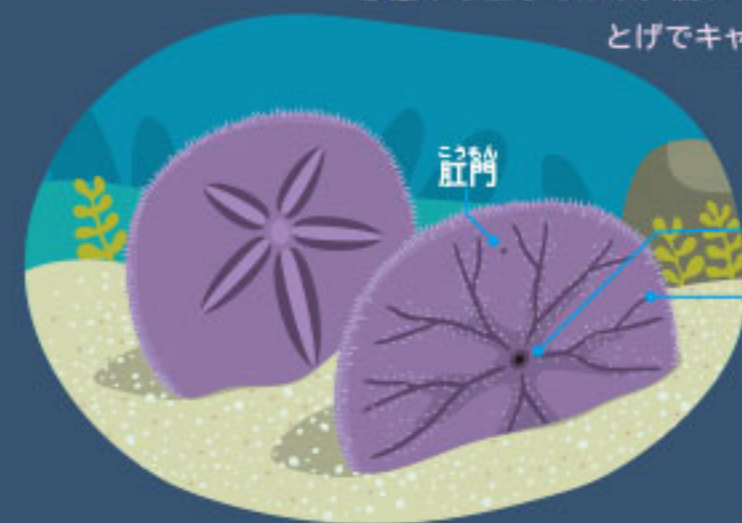
3000mの深海底にすむ、へんてこな形のウニ。砂にもぐり、かわった形の口だけをだしてくらしている。



海底につきささった1ドル硬貨?

アメリカハスノハカシパン

「サンドダラー（砂の1ドル硬貨）」とよばれる。砂底から立ちあがり、流れてくる小さなえさをとげでキャッチ。口にはこんで食べる。うんちは、よによよ。

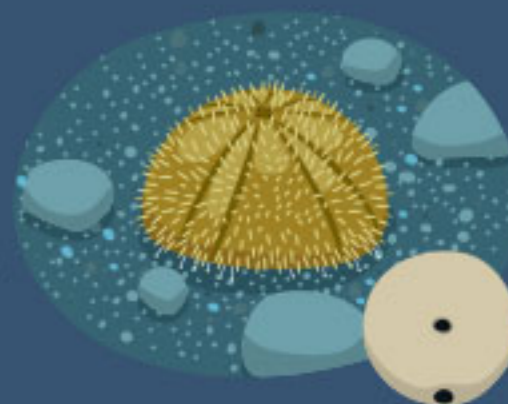


えさを口へはこぶみぞ

ウニまんじゅう

マンジウウニ

まるでおまんじゅうのよう。ごくみじかいとげが、びっしりはえている。

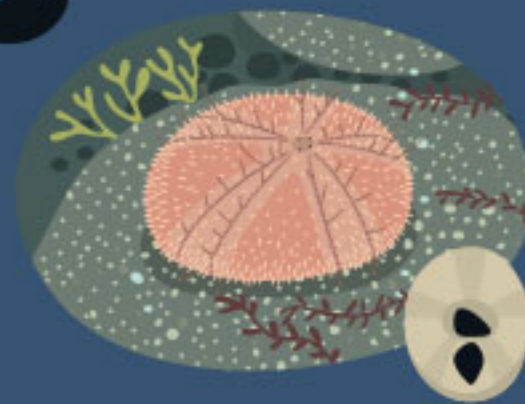


ふしぎなたまご

タマゴウニ

あたたかい海のあさいところにすむ、たまご形のウニ。恐竜のすんでいたジュラ紀にさかえていた仲間、今も生きているのは3種だけ。

コマツヅウニ・オシムギウニなんてウニもいるよ



王冠風のから

かわったとげが多い、キダリス目のウニたち

キダリス目というウニのグループは、いちばん原始的なウニたちで「生きた化石」とよばれている。大きくてユニークなとげ（主棘）が、とくちょうだ。



深い海にすむ なまはげ

ナマハゲフクロウニ

やわらかいからのウニ。てっぺんの部分はとげがなくはげている。ふくろのようなかざりは、とれやすく、さわるとぷりっとした感じ。

